

株主のみなさまへ

# 第24期中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

株式会社トランスジェニック

証券コード 2342



一人ひとりの健康と豊かな暮らしの実現をめざして



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、第24期中間事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。当社は、「未来に資するとともに、世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」ことを目指しております。  
 この経営理念を実現するために、当社グループでは基礎・探索研究から、非臨床、臨床まで網羅したサービスを行う創薬支援事業を展開するとともに、グループの収益基盤強化を目的として事業承継・再生事業分野を対象とした投資・コンサルティングを展開するTGBS事業を営んでおります。  
 当社は、各事業の事業特性に応じた最適な運営体制を構築し機動性の向上を図るために、本年4月1日より純粋持株会社体制に移行いたしました。また、来る2022年1月には、経営資源の最適な配分のための選択と集中を実行するため、100%子会社の(株)ジェネティックラボの全株式を譲渡することといたしました。  
 この新しい体制のもとで、各グループ会社間でのシナジーの最大化や成長戦略の実現を目指してまいります。  
 株主の皆様におかれましては、当社の取り組みにご理解をいただき、なお、一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2021年12月  
 代表取締役社長 福永健司

当社は、創薬支援事業の経営効率化と機能強化を目的として、当社子会社である株式会社安評センターに対して当社遺伝子改変マウス事業を、当社子会社である医化学創薬株式会社に対して当社抗体事業をそれぞれ2021年4月1日に事業譲渡し、多角化グループに適したグループガバナンス体制である純粋持株会社へ移行いたしました。このような体制の下、当社グループは次のような活動を行いました。

創薬支援事業につきましては、北海道において新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)PCR検査を受託してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間において検査数は高い水準で推移いたしました。検査数の増加に対応すべく検査に必要な機器を増強するとともに、現在実施している新型コロナウイルスPCR検査において陽性となった検体に追加検査を実施する変異株のスクリーニング検査の受託を開始いたしました。また、第1四半期連結会計期間より、これまで継続して取得してきたSARS-CoV-2スパイクタンパク質\*に対する抗体について、国立大学法人熊本大学との間で、診断薬や治療薬への活用を目的とした新型コロナウイルスの変異株を含むウイルスを使用した中和活性等抗体の性能評価に関する共同研究を開始いたしました。さらに、非臨床試験や臨床試験の受託につきましても、withコロナ時代に即した営業活動の取り組みに注力し、臨床試験を中心に新規受注が順調に推移いたしました。

TGBS事業につきましては、「Eコマース事業」において消費低迷の逆風の中で、売れ筋商品の仕入れ確保に努めるとともに、「その他事業」につきましてもコロナ禍で総じて低迷していた売上を回復すべく受注活動に努めました。

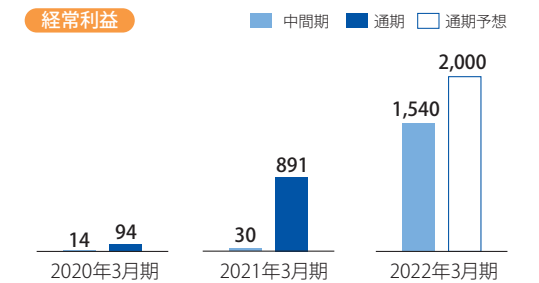
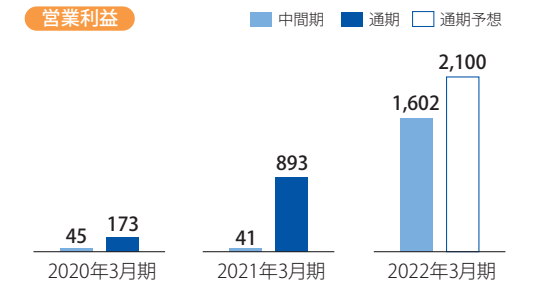
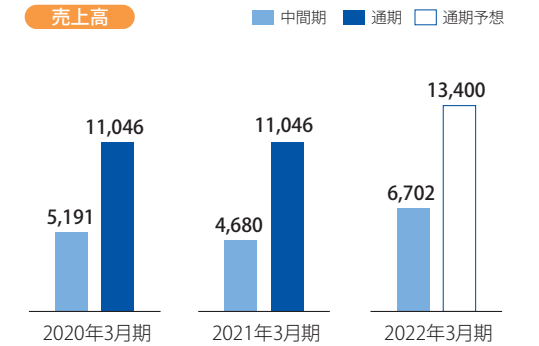
これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、創薬支援事業において北海道における新型コロナウイルス感染症の検査数の急増に伴い新型コロナウイルスPCR検査の受託件数が大幅に増加したことから、6,702百万円(前年同期比2,021百万円増)と前年同期比で大幅な増収となりました。同様に、営業利益は1,602百万円(同1,561百万円増)、経常利益は1,540百万円(同1,510百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は981百万円(同956百万円増)となり、前年同期比で大幅な増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、過去最高益でありました。

\*スパイクタンパク質：ウイルス粒子の表面に存在するスパイク(突起)状のタンパク質。ウイルスは、自分のスパイクタンパク質に糖鎖を付加させることにより細胞に侵入(感染)します。

◆第24期第2四半期連結累計期間(中間期)の業績

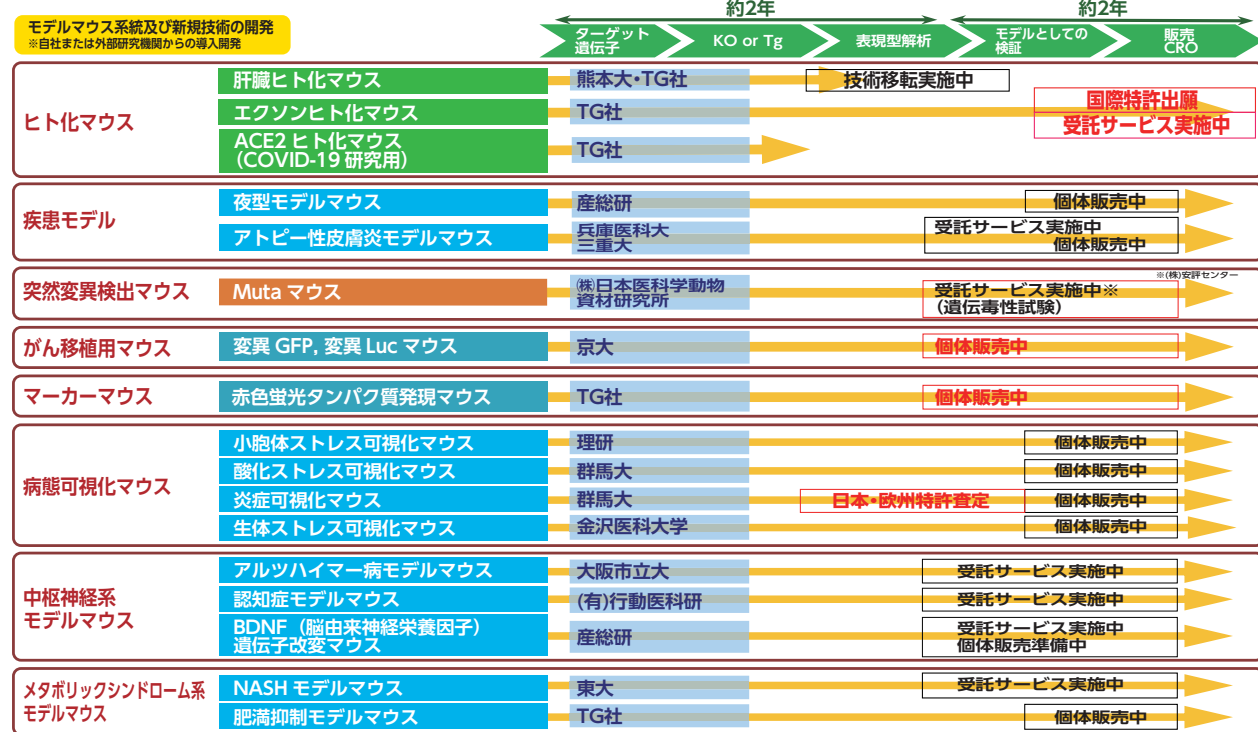
単位:百万円



2022年3月期第2四半期 売上高3,085百万円 営業利益1,582百万円

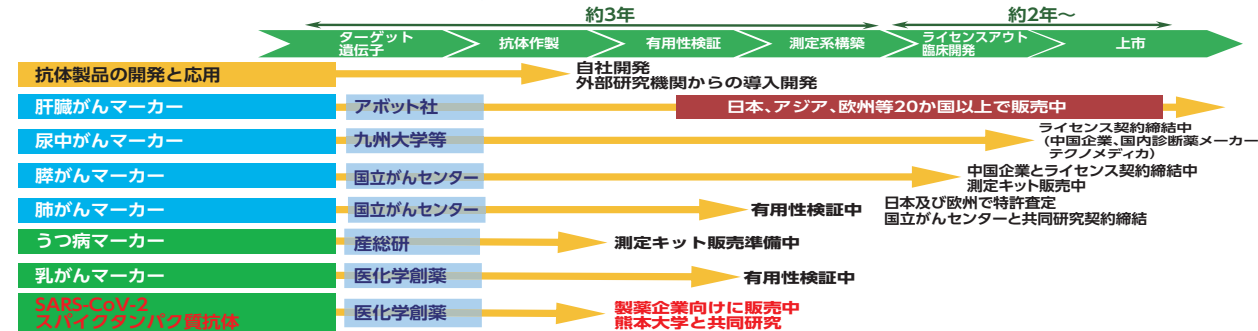
■モデルマウスの導入・開発状況

今後も積極的にモデルマウスの導入・開発を推進し、ラインナップの充実を図る方針



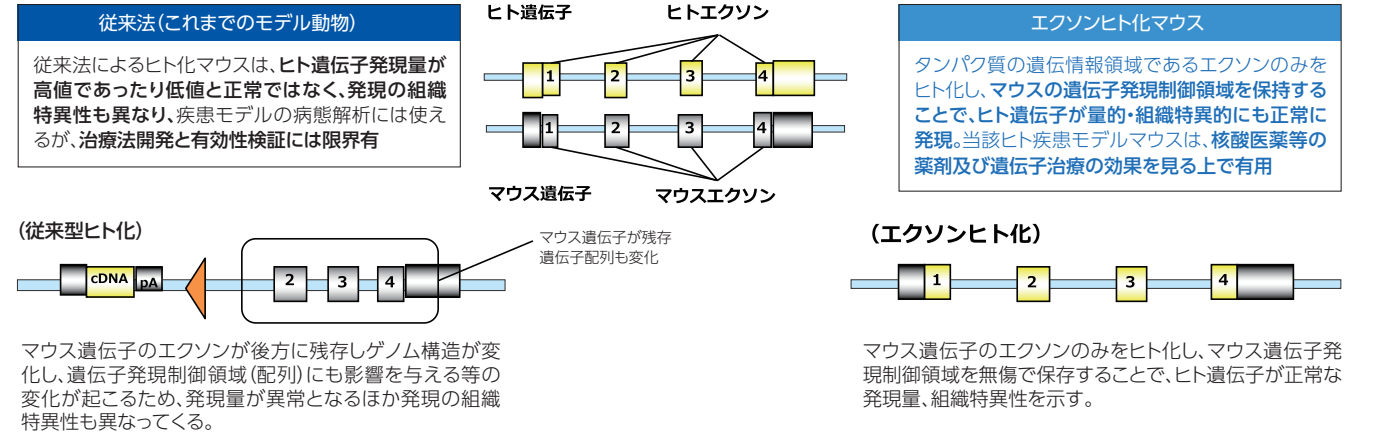
■開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬

SARS-CoV-2スパイクタンパク質抗体に関する熊本大学との共同研究は継続中



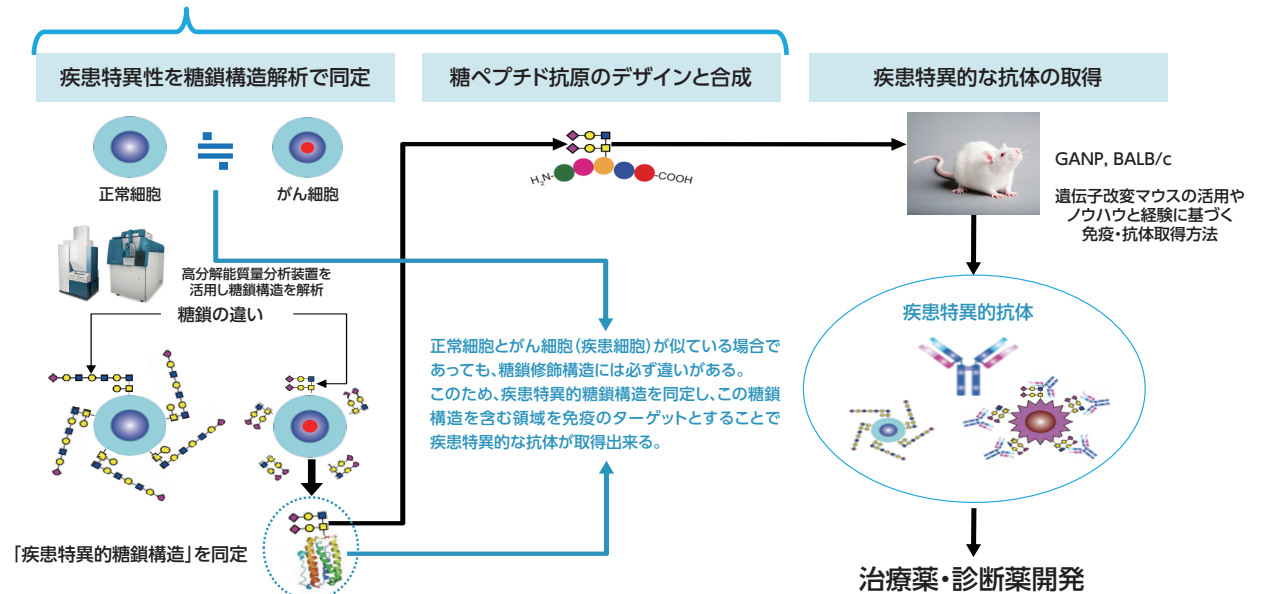
遺伝子改変マウス作製に関する独自技術「エクソン\*ヒト化マウス」の優位性について

※エクソンとは、真核生物のタンパク質の遺伝情報がコードされている(翻訳記列)遺伝子領域です。



糖鎖先端科学技術


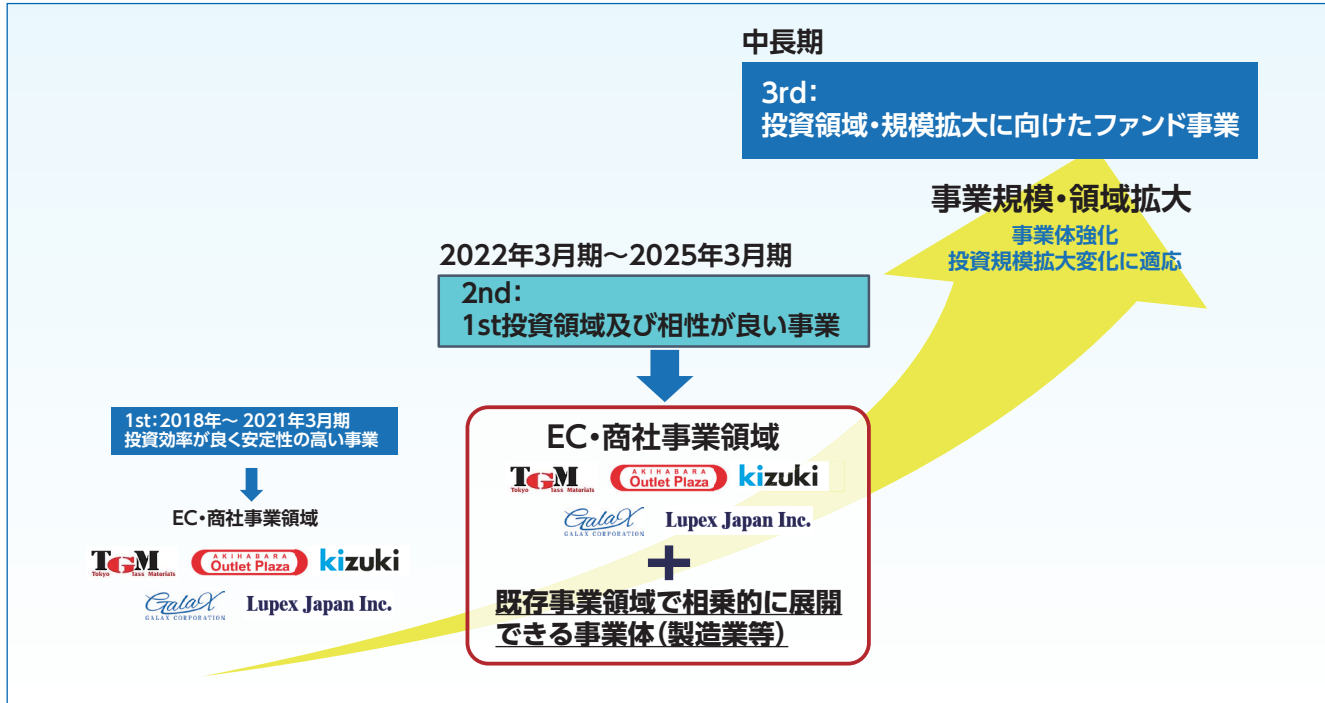
糖鎖に関する独自技術を基盤とした治療薬・診断薬シーズ開発を目的とする抗体創出プラットフォーム



2022年3月期第2四半期 売上高3,622百万円 営業利益116百万円

**投資方針**

- 事業開始からここまでは、黒字、安定・ニッチ、自走経営をキーワードに投資効率・回収が良いEC事業及び商社事業等を中心にM&Aを展開。
- 事業開始4年間の平均投資利回り(のれん償却前営業利益率)は30%。
- 投資額に対して、売上高は業態に左右されるが、利益は比例して増加。
- 過去4年間の投資額累計は14億円。収益基盤及び財務体質の強化に応じて、投資規模拡大を予定。

2021年11月に、病理ピアレビュー※1サービス、病理専門家育成サービスを行う株式会社ルナパス毒性病理研究所の全株式を取得し、同社を子会社化



※1 病理ピアレビューとは、個人の経験・知識に依存する病理組織学的所見に対し、他の病理学者が公正に評価・論評することで、主観的判定のリスクを軽減し、診断の質と信頼性を高めるものです。2014年9月OECD GLP文書No.16病理ピアレビューガイダンスとして発行されており、欧州・米国において病理ピアレビューは既に大多数のGLP試験に組み込まれています。

※2 医薬品等の当局への申請資料レビュー、コンサルティング

## 会社概要 2021年9月30日現在

会社名	株式会社トランスジェニック
設立	1998年4月
資本金	50百万円
従業員数	4名(単体) 266名(連結)
事業所	
本社	福岡県福岡市中央区天神二丁目3番36号
東京オフィス	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号

## 役員

代表取締役社長	福永 健司	常勤監査役	友永 良二
取締役	北島 俊一	監査役	佐藤 貴夫
取締役	船橋 泰	監査役	本坊 正文
取締役	山村 研一		
取締役	渡部 一夫		
社外取締役	清藤 勉		
社外取締役	斎藤 穂高		

## 株式の状況 2021年9月30日現在

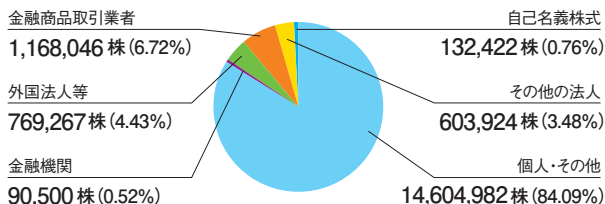
発行可能株式総数	43,630,100株
発行済株式の総数	17,369,141株
株主数	13,278名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	465,567	2.70
UBS AG LONDON ASIA EQUITIES	231,396	1.34
松井証券株式会社	176,400	1.02
藤井 正樹	173,000	1.00
株式会社ムトウ	160,200	0.93
株式会社リムジンインタナショナル	152,900	0.89
原田 育生	130,000	0.75
福永 健司	120,800	0.70
楽天証券株式会社	95,600	0.55
上永 智臣	93,800	0.54

(注)持株比率は自己株式(132,422株)を控除して計算しております。

## 所有者別株主分布状況



## 株主メモ

証券コード	2342
上場市場	東京証券取引所 マザーズ
上場年月日	2002年12月10日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## IRのお知らせ

最新トピックスやホームページの更新情報などを電子メールでお知らせしています。ご登録は当社ホームページにて受け付けています。

<https://www.transgenic.co.jp/>



当社のIR活動についてご意見・ご感想をお聞かせください。  
下記アドレスへのご連絡をお待ちしております

[ir@transgenic.co.jp](mailto:ir@transgenic.co.jp)